

日本看護技術学会第16回学術集会
移動動作評価班交流セッション報告書



移乗動作Q&Aの作成に向けての検討

日時：2017年10月14日（土）

会場：日本赤十字看護大学広尾キャンパス

参加者数：43名

日本看護技術学会第16回学術集会交流セッション4

移乗動作 Q&A の作成に向けての検討

移動動作評価グループ

西田直子¹ 水戸優子² 國澤尚子³ 平田美和⁴

若村智子⁵ 小林由実² 富田川智志⁶

¹京都学園大学 ²神奈川県立保健福祉大学

³医療生協さいたま地域社会と健康研究所 ⁴東京医療保健大学

⁵京都大学 ⁶京都女子大学

活動の背景

平成25年、厚生労働省労働基準局

「職場における腰痛予防対策指針」改訂

「福祉・医療分野等における介護・看護作業」

平成26年、厚生労働省 中央労働災害防止協会

腰痛予防対策講習会テキスト

「医療保健業の労働災害防止（看護従事者の腰痛予防対策）」

「社会福祉施設の労働災害防止（介護従事者の腰痛予防対策）」

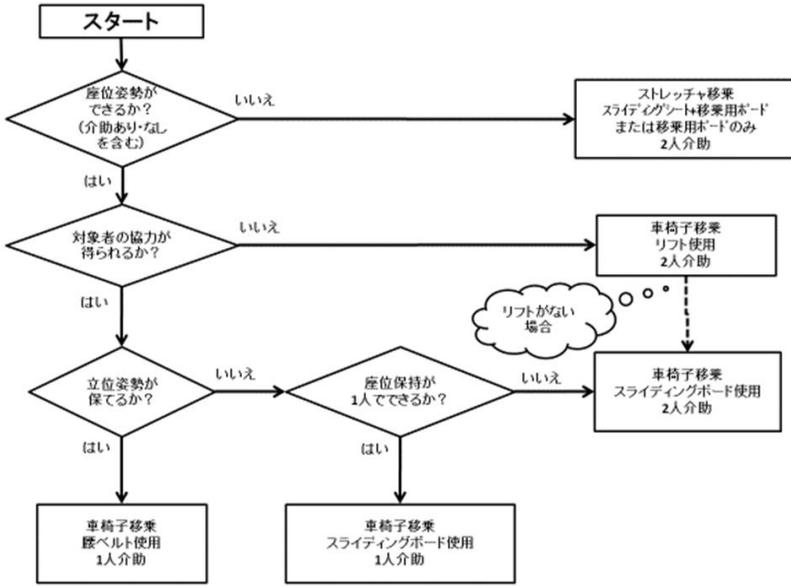
交流セッションの目的

- ◆患者および介助者にとって安全・安楽な移動動作に関連する看護技術の検証および開発を目指して平成20年から活動
- ◆平成27年度より移動動作ガイドラインに基づく安全安楽な移動方法の検討に取り組み、平成28年度には、対象の条件に応じ、器具を使用した移動動作に関するDVDを作成
- ◆第15回交流セッションでは、試作したDVDについて意見交換し、アンケートを回収し、DVDの修正・改善を行い、そのミニ版を作成し、Web上で試験的に公開する段階。



- 今回の交流セッションは、これまでの議論をふまえ、さらに新たな課題を含めて取り組んだ移動動作について報告し、意見交換を行う。具体的には、移動動作のなかでも移乗動作に焦点を当てたQ&Aを作成・提案し、参加者から意見を得ることを目的とする。

移乗動作Q&A(2017年) ver.1が完成しました！



移乗動作アセスメントのフローチャートを作成しました！

用具を使った楽に移乗介助を！

Q & A 2017

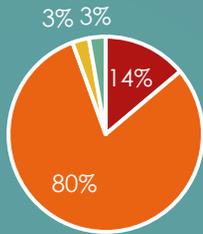


日本看護技術学会
技術研究成果検討委員会
移動評価班

完成したQ&Aの表紙絵

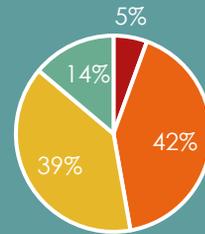
参加者アンケート結果

本研修の内容はいかがでしたか



- たいへんよかった
- よかった
- あまりよくなかった
- よくなかった

本研修の構成・時間配分はいかがでしたか



- たいへんよかった
- よかった
- あまりよくなかった
- よくなかった

回答理由の抜粋

中防災の講習会に参加してきました。現在の労災申請の中でNSの腰痛は増加、高止まりしていること、どのような行為が腰痛の原因になるのかを明記しています。このようなデータをQ&Aに載せてはいかがでしょうか？

道具利用方法はわかりやすく書かれているが、ボディメカニクスの視点もあって良いと思う。全体を通してQ&Aではありますが、看護手順の域を脱していないのではないのでしょうか？

道具を使う、普及しないのは、・・・などキーワードがもっとあると思うので、皆様の素直な思いを出されるとよいと思いました。

用具を使用することで、看護者にどのようなメリットがあるのかをデータで示す必要がある。患者さんにとってどうか、患者さんの意見を入れると（主観的な評価）説得力があると思います。自分たちにとって良いよりも、患者さんが楽だということであれば、NSは前向きに使うと思います。

ボディメカニクスが中心だと移動に協力できる患者の動きを妨げてしまうのではないかと考えると他の概念も入れてよいのかと思いました。

回答理由の抜粋

Q5を読むと誰がどの冊子が対象なのかがわからないとおもいました。

文字が多くて写真が少ないので、読むのが大変。写真の画素数が荒くて見にくい。

文字が多く読むのが大変だと感じました。

値段など書いてたら分かりやすかった。

文字が多いのでもう少し見やすい方がいい。特に大切な部分を大きくするなどポイントが分かりやすくしてほしい

文章が多い、写真を用いている時も動画の時も、看護者が力を加えたり、重心を移動させている向きを画面上に示すとよいと思う。

紙で配布することだけを考えず、webサイトでpdf版は写真をたくさん使い、詳細に説明するなど、バージョンを分けても良いと思います。